

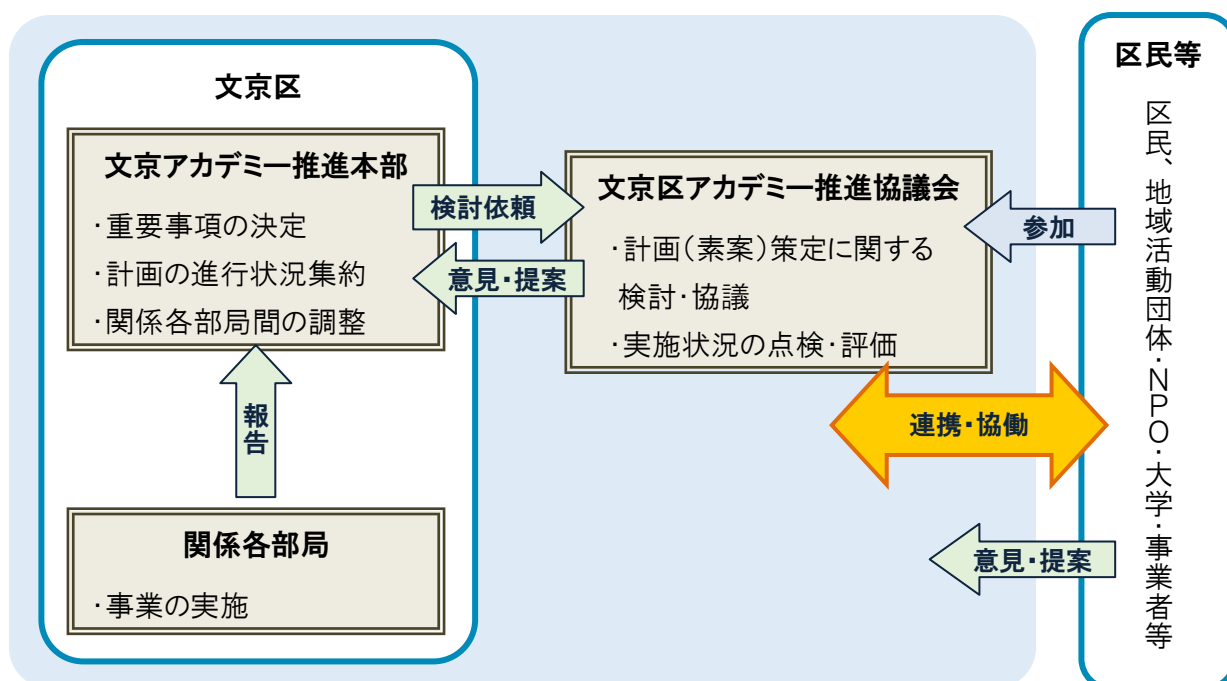
第五章 計画の推進体制と評価の考え方

1. 計画の推進体制

アカデミー推進計画は、区と区民等がともに「連携・協働」に基づき推進するためにも、庁内のみならず、区民等からなる体制による事業評価が求められます。

そこで、前回の計画にひきつづき、各種事業に取り組む庁内組織である「文京アカデミー推進本部」と、計画における事業の実施状況の点検及び評価を行う区民参画組織「文京区アカデミー推進協議会」からなる推進体制をとります。

「文京アカデミー推進本部」では、アカデミー推進部を中心として関連する各部局との連携・協力を充実させ、本計画に定めた各種活動の活性化のための施策・事業を総合的に推進していきます。一方、「文京区アカデミー推進協議会」では、毎年度区民目線で事業評価を行います。



2. 評価の考え方とPDCAサイクル

本計画の5つの分野の施策と各分野で共通の考え方や方向性をもって取り組む横断的施策を着実に実行するために、PDCAサイクル(下図)に沿って事業の実施状況を定期的に点検・評価し、継続的に改善を図っていきます。

PDCAサイクルとは、事業活動におけるPlan(計画)、Do(実施・実行)、Check(点検・評価)、Action(処置・改善)の4段階を繰り返すことで業務を継続的に改善していく手法です。本計画において示された内容に照らして、毎年度事業を企画し(Plan)、庁内関係各所はもとより、区民や関係団体等と協働し、計画ならびに事業を推進します(Do)。毎年、前年度に実施した計画の進捗と事業の実施状況について、文京区アカデミー推進協議会と各分野の分科会において点検・評価を行います(Check)。その評価を通じて、過年度の事業をふり返り、必要な見直しあるいは拡充を行うことで、次年度の事業の充実・発展につなげます(Action)。

このようなPDCAサイクルに沿った事業の定期的な点検・評価を行うことで、毎年、よりよい事業の企画・実施につなげ、各分野における分野別目標、そして本計画の4つの共通目標、さらには基本理念である「区内まるごとキャンパスに —「文の京」、豊かな学びと交流を生み出すまち—」の実現を目指します。

